

全国SLAなど8団体、被災地に2万冊贈る

新潟県中越大地震の被災地へ本を贈る会、105校に約2万冊

全国学校図書館協議会、読書推進運動協議会等8団体で構成する「新潟県中越大地震の被災地へ本を贈る会」では、去る5月26日、被災地の小・中・高等学校105校に約2万冊の本を贈った。

昨年10月23日に起きた中越大地震では、全村壊滅状態となった山古志村をはじめ広い地域が被害にあった。現在も復旧のめどもたらず、仮設住宅での生活を余儀なくされている家庭も多い。

本を贈る会では、地震で傷ついた子どもたちの心を慰め、今なお困難に立ち向かっている子どもたちを励まし、勇気づけたいと立ちあがった。構成団体は、読書推進運動協議会・出版文化産業振興財団・全国学校図書館協議会・日本出版取次協会・日本書籍出版協会・日本書店商業組合連合会・日

本児童図書出版協会・日本図書館協会の8団体、協力団体として新潟県学校図書館協議会が参加した。

寄贈先は、現在、仮設住宅で生活している子どもが通学している学校に限り、小学校52校、中学校31校、養護学校2校、高等学校20校の合計105校とした。この事業の呼びかけには85出版社が賛同、21,653冊の寄贈を受けた。これらの図書を5月23日から業者委託で梱包(こんぼう)を開始、5月26日には各学校へ直接届けられた。

このうち、北魚沼郡川口町立川口小学校(桑原昭校長・児童数190人)では、贈呈式が行われ、209冊分の目録が児童代表に手渡された。本を贈る会では、これらの図書が子どもたちの心のケアに役立つことを望んでいる。

なお、学校図書館の図書の購入に要する経費については、下図のとおり措置された。

文部科学省、図書整備費に約130億円の措置を通知

文部科学省は6月6日付けで各都道府県教育委員会教育長宛に、「公立義務教育諸学校の学校図書館の図書の購入に要する経費の地方財政措置について(通知)」と題する坪田眞明文部科学省初等中等教育局児童生徒課長名の通知を出した(『学校図書館速報版』6月15日号で既報)。

通知では、学校図書館図書整備5か年計画(平成14年度～18年度)により、学校図書館図書標準に足りない分を整備する経費として、毎年約130億円、総額約650億円が地方財政措置されており、17年度も約130億円の交付税措置が講じられることを伝えている。同計画が来年度で終了することを踏まえ、学校図書館図書標準の早期達成に向け、図書の計画的な整備を図るよう、各教育委員会に対し、適切な指導及び助言等を求めている。

学校種別	測定単位	積算内容	経費
小学校	学級数	学校図書館図書 (18学級)	439千円
中学校	学級数	学校図書館図書 (15学級)	744千円
特殊教育諸学校 (盲・ろう・養護学校)※	学級数	学校図書館図書 (226学級)	1,388千円

※特殊教育諸学校は標準団体当たり措置額。
平成16年度～：種別補正を廃止→単位費用化(標準団体規模も見直し：23学級→226学級)

1学級当たりに換算すると(()内は昨年)、
小学校＝約24,389円(約24,444円)
中学校＝49,600円(約48,800円)
特殊教育諸学校＝約6,142円(約6,208円)
となる。この1学級当たりの金額にそれぞれの学校の学級数を掛けると従来の図書費に「上乘せ」される図書費が計算される。